

## 2013年度 自己評価

作成者 藤田真弓

今年度は、園の教育理念を基本として、一年間の教育目標を以下のように立てて取り組んできました。

<運動> 運動を好きになるように基本的なことから考え、出来ない子も(苦手な子)できるように丁寧なプロセスを作る。身近な目標を決め、積み重ねを大切にしていって取り組んでいく。

<食育> 喜んで食べることを大きな目標とする。また、食事のマナーにも力をいれ、姿勢、箸の正しい持ち方、好き嫌いを減らしていくことも伝えて行く。

<思いやり> 基本的に、自分自身が大切にされていることを感じられたら、人からの愛に満たされると人に対する思いやりが育ち、命の大切さも分かるようになる。保育者は子どもとしっかりと関わり、褒める意識を持ち、お互いに素敵なお互いのところを探し伝えるようにすることを大切にしていって行く。

これらを、園全体、学年の担任、保護者との幅広い関係の中で共通の目標を持ち一年過ごしてきました。

年少組：運動では、ひとつひとつのステップを踏んで取り組んでいくようにしてきた。繰り返し取り組み、身体を動かすことを好きになるようにということを目指して取り組んでくれた。「うんどうノート」を活用し、保護者にも、情報を伝える事が出来ていたことも良かった。

食育では、喜んで食べる、また配膳された食事は頑張って食べる事が出来るように、給食業者の人とも相談し、子どもが食べやすい食材に工夫してきたことも、完食につながっていくことができた。

年中組：運動では、昨年度の基礎的な動きを継続していくことを大切にしていって取り組んできた。また年長児の遊びや運動にも興味を持ち始めた時は、年長児と一緒に取り組むことでやり方を学ぶこともできた。「運動ノート」も活用し、子ども達の意欲にもつながった。

食育では、子どもが取り組めることを常に考えるようにしてきた。また、クッキングの取り組みの中で、実際にスーパーに買い物に出かけ、地域の人と触れ合うことが出来たことも良かった。

年長組：運動では、三年間の積み重ねを大切にしていってステップアップしてきたので、子ども達も挑戦する強い身体と心を持つことが出来たと思う。体育指導の講師にも様々なことを相談し、連携を取ることが出来た。

食育では、「切る」というテーマで取り組んできた。自分たちの育てた野菜や旬の食材を切り調理し食べるという流れを大切にしたい。包丁の扱いなど慎重に取り組む様子が見られ、年齢にあった取り組みが出来たと思う。

全体：職員の中で学年ごとに「運動」「食育」「音楽」と係を決め、一年間の各学年の目標や段階を研究し、それらを学年におろしてきてきました。年度末には、今年の取り組みのまとめを行い、次年度へ

繋がるようにしました。

「祈り」では、心の取り組みを大切にしてきました。子ども達は日々の生活の中で様々なことを感じ、友達との関わりで人を思いやる心が育ってきていることを感じます。しかし、「こころ」は目に見えず、保護者の方に伝わりにくい面があります。今年度も丁寧に心の教育をしてきましたが、年度末アンケートで、神様の見守りや心の成長を感じる事が出来ていると思われている方が私たちが思うより少ないという結果が出ました。来年度は、さらに心の教育を丁寧に行い、保護者の方に子ども達の心の成長を感じてもらえるようにしていきたい。子ども達が大きくなった時に、幼児期に抱いた思いやりの気持ちを、周りの人たちに分け与える事が出来るように、今を大切に関わっていきます。

来年度も、また新たな教育目標を立て、幼児期に必要な事を常に考え、子ども達と関わっていきます。

# 2013 年度 学校関係者評価

クラレット学院

うみのほし幼稚園

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

平成 25 年度  
 学校法人クラレット学院・うみのほし幼稚園  
 学校関係者評価委員名簿

役 職 など	氏 名	人 数
父母の会副会長	水谷 陽子	1 名
父母の会副会長	青木 早織	1 名
枚方市在住	丸中 正量	1 名
人数合計		3 名